

中学生（レギュラーの部）投球数制限ガイドライン（案）

1、レギュラーの試合での登板は下記のとおり制限する。

- (1) 1日最大80球以内とし、連続する2日間で120球以内とする。連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
- (2) 3連投（連続する3日間）する場合は、1日の投球数を40球以内とする。4連投（連続する4日間）は禁止する。なお当該投手の球数制限内での投球カウントの停止は行わない。
※1日の試合数は問わない
- (3) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする。
- (4) (1)～(3)を原則基本とするが、打席の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は翌日以降に投球にカウントしない。
- (5) 連続する2日間で80球を超えた投手並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
- (6) ボークは投球数としない。
- (7) 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。
- (8) 申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする

2、練習中の投球数は下記のとおりとする。

1日70球以内、週350球以内とする。また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設けること。

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	備考
投手A	80	0	80	0	80	1日80球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目と5日目は80球の投球が可能。
投手B	80	0	80	40	休	1日80球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目80球の投球が可能。第4日目は40球の投球が可能、第5日目は連続する2日間で80球を超えたので投手・捕手として出場できない。
投手C	40	40	40	休	80	1日40球以内なので3連投（連続する3日間）できる、4連投（連続する4日間）は禁止。3連投した投手は翌日は捕手としても出場できない。第4日目を投手として出場しなかったため第5日は80球の投球が可能。
投手D	80	40	休	80	40	1日80球以内、2日間で120球以内。連続する2日間で80球を超えたので、翌日は投手・捕手として出場できない。第3日目に投手として出場しなかったため、第4日目は80球の投球が可能。また第5日目は40球の投球が可能。
投手E	80	0	80	20	休	1日80球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目は80球の投球が可能。第4日目は40球の投球が可能、※1日の試合数は問わない 第5日目は連続する2日間で80球を超えたので投手・捕手として出場できない。
投手F	45	30	休	80	30	2日間で80球を超えていないが、第1日目に40球を超えているため、3連投（連続する3日間）はできない、第3日目は捕手として出場することができる。
					10	第4日目は80球の投球が可能、第5日目は40球まで投球可能。 ※1日の試合数は問わない

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

中学生（ジュニアの部）投球数制限ガイドライン（案）

1、ジュニアの試合での登板は下記のとおり制限する。

- (1) 1日最大70球以内とし、連続する2日間で110球以内とする。また3連投（連続する3日間）は禁止する。（ジュニアは3連投を禁止する）
※1日の試合数は問わない
- (2) 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可能とする。
- (3) (1)～(2)を原則基本とするが、打席の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は翌日以降に投球にカウントしない。
- (4) 連続する2日間で70球を超えた投手並びに2連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
- (5) ボークは投球数としない。
- (6) 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。
- (7) 申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする

2、練習中の投球数は下記のとおりとする。

1日60球以内、週300球以内とする。また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設けること。

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	備 考
投手A	70	0	70	0	70	1日70球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目と5日目は70球の投球が可能。
投手B	70	0	70	40	休	1日70球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目70球の投球が可能。第4日目は40球の投球が可能、第5日目は連続する2日間で70球を超えたので投手・捕手として出場できない。
投手C	40	30	休	70	40	ジュニアは3連投（連続する3日間）は禁止する。第3日目は2連続する2日間で70球を超えていないが、2連投したため捕手としても出場できない。第3日目を投手として出場しなかったため第4日は70球の投球が可能、第5日目は40球の投球が可能。
投手D	70	40	休	70	40	1日70球以内、2日間で110球以内。連続する2日間で70球を超えたため、翌日は投手・捕手として出場できない。第3日目に投手として出場しなかったため、第4日目は70球の投球が可能。また第5日目は40球の投球が可能。
投手E	70	0	70	20 20	休	1日70球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目は70球の投球が可能。第4日目は40球の投球が可能。第5日目は連続する2日間で70球を超えたので投手・捕手として出場できない。 ※1日の試合数を問わず
投手F	35	30	休	70	30 10	2日間で70球を超えていないが、3連投（連続する3日間）はできない。第3日目は2連投したため、捕手としても出場できない。 第4日目は70球の投球が可能、第5日目は40球まで投球可能。 ※1日の試合数は問わない

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。